

会社名	： 株式会社 埼玉オークラ	化学品名[製品]	作成日	： 2023/5/18
SDS整理番号	： MSDS-22-110-0262	オークラフィルム	最終改訂日	：

安全データシート

1 化学品(製品)及び会社情報

化学品の名称[製品名]	オークラフィルム 30 μ m以上
製品コード	110
供給者の会社名称	株式会社 埼玉オークラ
住所	埼玉県東松山市柏崎58番地
電話番号	0493-22-3733

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	分類基準に該当しない 重要危険有害性及び影響 物理化学的危険性: 可燃物質であり、着火源があれば燃える。(消防法 指定可燃物) 健康有害性: 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さい。 特有の危険有害性: 燃焼した場合、一酸化炭素や窒素酸化物等の有毒ガスを発生する可能性がある。
-----------	---

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物[成形品]		
化学名又は一般名	(1)エチレン・1-ブテン コポリマー (2)その他樹脂成分 (3)その他添加剤	(1)エチレンホモポリマー (2)その他添加剤	(1)エチレン・1-ヘキセン コポリマー (2)その他添加剤
CAS番号	(1)25087-34-7 (2)非開示 (3)非開示	(1)9002-88-4 (2)非開示	(1)25213-02-9 (2)非開示
濃度又は濃度範囲(%)	(1)約48.0%以上 (2)約21.0%未満 (3)約1.0%以下	(1)約28.1%以上 (2)約0.9%以下	(1)約0.7%以上 (2)約0.3%以下

4 応急措置

吸入した場合	高温の溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移す事。症状変化が現れた場合は、直ちに医師の手当てを受ける事。呼吸が止まっている場合又は、呼吸が弱い場合は衣服を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸(又は酸素吸入)を行う。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。通常は特に問題ないが、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行き渡る様洗浄する事。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて眼を洗浄する事。異物感が眼に残る様であれば、速やかに眼科医の手当てを受ける事。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗浄する。洗浄の際、可能ならば、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行き渡る様洗浄する事。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて眼を洗浄する事。異物感が眼に残る様であれば、速やかに眼科医の手当てを受ける事。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄しコップ数杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当てを受ける事。可能であれば、指を咽喉に差し込んで吐き出させる。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5 火災時の措置

適切な消火剤	霧状水、粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂等
使ってはならない消火剤	棒状に噴出する水 火災条件下で熱分解し、空気と混合して爆発混合気を生ずる恐れがある。 移動可能な場合は、速やかに安全な場所に移す事。可能であれば、周囲の設備等に散水して冷却する事。移動可能な場合は、速やかに安全な場所に移す事。可能であれば周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する事。消火作業の際は、必要に応じた保護具を必ず着用する事。

会社名	：株式会社 埼玉オークラ	化学品名[製品]	作成日	：2023/5/18
SDS整理番号	：MSDS-22-110-0262	オークラフィルム	最終改訂日	：

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際は、保護具を着用し、接触及び粉塵の吸入を避ける事。この製品が散乱・飛散した場合は、滑り易いので注意する事。高温の溶融樹脂から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。
環境に対する注意事項	環境においては、長期間分解しない為、環境汚染物質の原因となるがポリマーの水溶解性は無視できるので、水性生物に対すす毒性は弱いと思われる。環境への影響を起こさないよう土壌、河川、湖沼、海洋へ放出しない。シート、フィルム、袋は水や水域にも放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	飛散したものは、掃き集めて紙袋又は、ドラムなどに回収する事。掃除機が粉塵を撒き散らす元にならない様に注意。溶融状態で漏出したときは、水等で冷却し、固化した後に回収する事。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
・技術的対策	防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、及び火花を発生しない工具を使用する事。電気機器類は、防爆構造のものをを用い静電気防止対策を行う事。取扱い場所は、換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。吸入、皮膚への接触を防ぎ、また目に入らないように保護具を着用する事。取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔を良く洗う。
・安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない事。必要に応じて局所排気装置内又は全体換気装置の場所で取り扱う事。粉塵、高温の溶融樹脂ガスが発生しない様に取り扱う。溶融物との接触の防止の為、適切な個人用保護具を着用する。フィルム片は、床に残ると滑り易いので常に清掃して取り除く事。
・接触回避	データなし
保管	
・安全な保管条件	熱・発火源から離れた所で、高温多湿を避け、屋内で荷崩れを防止して保管する。
・安全な容器包装材料	納入形態で保管する。

8 暴露防止及び保護措置

(許容濃度等)					
成分名称	安衛法管理	日本産業衛生学会		ACGIH(TLV-TWA)	
		吸入性粉塵	総粉塵	吸入性粉塵	総粉塵
		(mg/m3)	(mg/m3)	(mg/m3)	(mg/m3)
ポリエチレン	未設定	2	8	3	10

取扱場所には、出来るだけ全体換気装置し、密閉された装置、機器にも出来るだけ局所排気装置を使用する。取扱場所の近くに、洗顔及び身体洗浄の為の設備を設置する事。

保護具	
・呼吸用保護具	粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい。
・手の保護具	ゴム手袋等の保護手袋を着用する事が望ましい。
・眼、顔面の保護具	保護眼鏡の着用が望ましい。
・皮膚及び身体の保護具	重量物取り扱い作業やフィルム走行、溶融を伴う作業等では保護衣と安全靴を着用する。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	固体、プラスチックフィルム
色	無色透明
臭い	プラスチック臭
融点／凝固点	110～125℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	データ無し
可燃性	データ無し
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データ無し
引火点	データ無し
自然発火点	270℃以上
分解温度	データ無し
pH	データ無し
動粘性率	データ無し
溶解度 ※	水に不溶

会社名	： 株式会社 埼玉オークラ	化学品名[製品]	作成日	： 2023/5/18
SDS整理番号	： MSDS-22-110-0262	オークラフィルム	最終改訂日	：
n-オクタノール／水分配係数 ※	データ無し			
蒸気圧	データ無し			
密度及び／又は相対密度	0.91～0.94			
相対ガス密度	データ無し			
粒子特性	データ無し			

10 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱い条件では安定である。
化学的安定性	データ無し
危険有害反応可能性	酸化剤と反応する。
避けるべき条件	高温、高温雰囲気下での保管を避ける。火源との接触を避ける。
混触危険物質	酸化剤との混合、接触を避ける。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、炭素水素及びその酸化物

11 有害性情報

急性毒性	データ無し
皮膚腐食性／刺激性	データ無し
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ無し
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ無し
誤えん有害性	データ無し

12 環境影響情報

生態毒性	データ無し
残留性・分解性	データ無し
生体蓄積性	データ無し
土壤中の移動性	データ無し
オゾン層への有害性	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書(改訂版)：リストに掲載なし

13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	①埋め立てる時は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って、公認の廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはその団体に委託・処理する。 ②焼却する時は、焼却設備を用い、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」、大気汚染防止条例等の処分令に適合した処理を施して焼却する。
---	--

14 輸送上の注意

(輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策)	梱包材が破れないように、水漏れや乱暴な取扱を避ける。 重量物のため、転倒、落下がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 火気、高温度は避ける。
国内規制がある場合の規制情報	輸送に関する法規制には該当しない。

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報	消防法 廃棄物処理法 食品衛生法	指定可燃物(合成樹脂類) 産業廃棄物、廃プラスチック類 食品包装用途に使用する場合
---------------------------	------------------------	---

会社名	： 株式会社 埼玉オークラ	化学品名[製品]	作成日	： 2023/5/18
SDS整理番号	： MSDS-22-110-0262	オークラフィルム	最終改訂日	：

16 その他の情報

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理的及び化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
このSDSは製品の工業的な一般的取扱いに際しての安全な取扱いについて、最新の情報を集めたものですが万全ではありません。
また、注意事項は通常の手配を対象としたものなので、特殊な手配の場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
新たな情報を入手した場合は、追加または訂正されることがあります。